東京ビジネス
デザインアワード

(株)扶桑が最優秀賞獲得

「転写」、カスタマイズ自在に

「東京ビジネスデザインアワード2017」（東京都主催、（公財）日本デザイン振興会運営）は2月7日、東京都港区赤坂の東京ミッドタウンカンファレンスRoom7で最終審査を実施。8テーマ・8組のデザイナーによる公開プレゼンテーションの末、最優秀賞に㈱扶桑（葛飾区立石、富田暁社長）のあらゆる生地素材にアイロンなしで貼れる「特殊転写技術」を応用した、㈱GoodTheWhatによる提案『ユーザーが生地をカスタマイズできるパターンシート』が栄誉に輝いた。

プレゼンに立ったプランナーの榊原美歩氏は、製品概要やコンセプトの説明に加えて、協業の狙いについて言及。

扶桑はOEM事業中心で製造には自信を持つ反面、製造のフェーズ以外の部分に関わる機会が少なかったと分析。「企画開発やデザイン制作、販売計画などもアイデアを出し合い、横断的に関与する体制を構築していく重要性を感じた」として「製造中心の体制から自社発信でものづくりを行える体制へ。今回の協業が変化のきっかけになれば」と説いた。

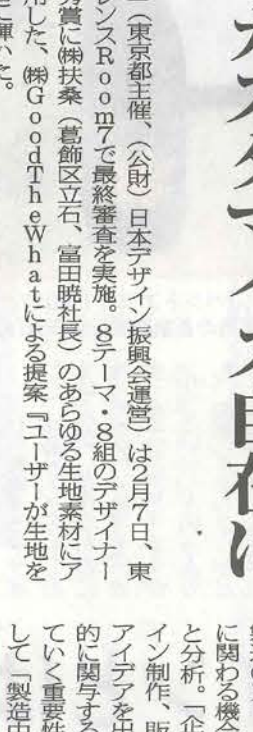
主催者は「非常に高い転写技術を生かし、ユーザー側にもクリエーションが生まれる点が今のDIYの時代に適合。約1カ月のマッチング期間に試作品製作やワークショップを行うなどの実働性も評価ポイントとなった」（要旨）としている。

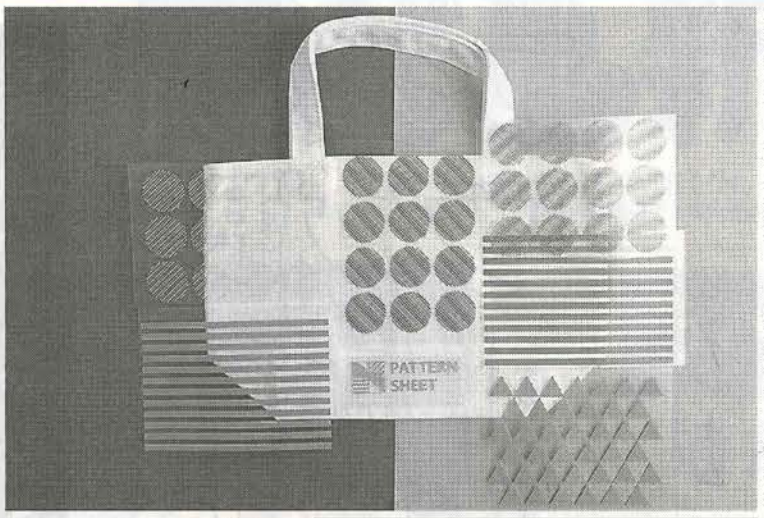
終わりに廣田尚子審査委員長は「"ビジネスデザインアワード"を名乗る背景には、デザインや商品開発のあるべき姿として『よい技術』『よいモノ』『よいビジネス』という3つの要素がそろって、初めて企業が成長すると考えるため。今回の最優秀賞と優秀賞を受賞した3社の提案は、その3つの要素が完璧にそろっていた」と総括した。

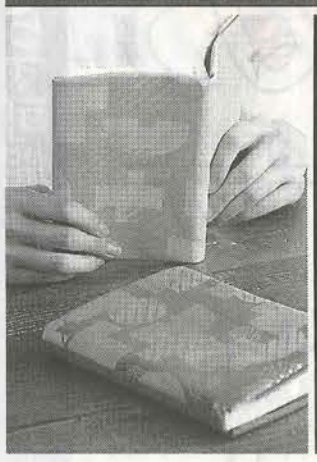
◇◇◇

テーマ賞8件の中には、印刷や紙加工関連の受賞事例も多数見られた。スクリーン印刷会社の八欧産業㈱が有する反射材への「テクスチャープリント技術」を、㈱GKダイナミックスが『反射材への特殊プリント技術によるフォトジェニックな雨具』として提案。安全性・機能性・デザイン性を備え、反射材のギミックが生む〝フォトジェニックな〟雨具を「驚きとワクワクをSNSで拡散しながら、雨の日を親子でハッピーな気持ちで過ごしてもらいたい」と趣旨を説いた。

また、寿堂紙製品工業㈱のWFTO認証のフェアトレード製品「バナナペーパー」を『バナナペーパー』製品を通じて、生産者と消費者を幸せの連鎖で繋ぐプラットフォーム』と社会ネットワークに昇華した提案事例や、㈱石山のラテックス樹脂を含侵させ製造した特殊紙「ポンテックス」を『アウトドアや防災で役立つペーパープロダクトの提案』として、燃えるゴミとして捨てられる包丁や食器を披露した。


廣田尚子審査委員長





最優秀賞に輝いた「ユーザーが生地をカスタマイズできるパターンシート」（写真上、左下）。プレゼンを行うGoodTheWhatのデザイナー、榊原美歩氏

技術をパターンシート化

6回目を迎えた東京ビジネスデザインアワードは、板金や溶接、旋盤や印刷といったものづくりに従事する都内の中小企業とデザイナーが協働して、新ビジネス創出を目的にデザインと事業提案のマッチングを競うコンペティション型の事業。デザイナーの課題解決力で、従来とは異なる製品づくりや新規ビジネスモデルの創出を図る。

今回最優秀賞を受賞した扶桑は、転写ステッカーやタトゥーシールなどのOEM供給を得意とするスクリーン印刷会社。この特殊転写技術を一般消費者が自在に楽しめる形に落とし込んだアイデアをGoodTheWhatが提案した。

パターンシートは2枚の透明フィルムの間に、接着面を持つ色、形豊富な図柄を格納。接着面側の剥離フィルムを剥がして被着体に当て、ステンシルシートの要領で硬貨などを使用してフィルムの上からこすることで容易に転写する。表面に凹凸のある衣類や皮革にも転写可能で、図柄は重ねることもできる。一定の擦過耐性や洗濯耐性も備えた同シートで、手帳や衣料小物などを自在にデコレーションできるという商材だ。

展示会リポート

「第8回化粧品開発展（COSME Tech 2018）」や「第1回Web販促EXPO春」（リードエグジビション ジャパン㈱主催）などの展示会が1月24日から3日間、江東区有明の東京ビッグサイトで開催。会期中、5万人の来場数を記録し、訴求方法を工夫した粘着製品が多くの関心を集めた。

化粧品開発展では、イーデーエム㈱（東京都板橋区板橋、☎03・3964・4005）が、ラベルデザインからラベリングに至るまでトータルで支援するソリューションを紹介した。担当者は「今回は、ラベルのデザインがメーンの展示。化粧品のターゲット層と価格別に『スタンダード』『オーガニック』『プレミアム』と3タイプの提案を想定し、デザイン案をそれぞれ3パターン見せた。当社のラベラー『LMFe6000-JM』などと併せて訴求したい」と話す。

㈱サンユー印刷（新潟県三条市東光寺、☎0256・64・7773）は、シール・ラベルを含む化粧品パッケージの多品種小ロット対応が可能である点を訴求。同社は印刷事業部をはじめ梱包材販売事業部も展開しており、パッケージの輸送時に使用するエアー緩衝材と併せて供給できる点を強調した。

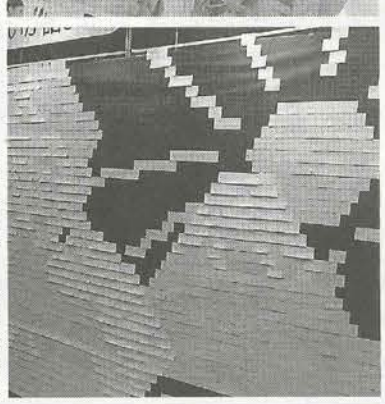
ブランドオーナーの㈱ezles（東京都中央区銀座、☎03・6226・6933）は、内容物の劣化を防ぐため、遮光性が強いブルーボトルを採用した飲料「バラウォーター」を展示。青色のボトルにマッチするよう、ピンクのバラのイラストをちりばめ、商品名や枠線に金色の箔押し加工を施したデザインが来場者から注目された。

Web販促EXPOにも印刷会社が多数出展し、やまと印刷㈱（愛媛県四国中央市川之江町、☎0896・58・2053）は、1月に発売したロール状の「付せんメモ」を展示。同付せんはBtoC向けに開発したもので、ロール状にして持ち運びやすくした点を特徴とする。今回の展示品はオフィスにおける活用シーンに合わせて、不在メモを残せるようなデザインなどを紹介した。

企業のノベルティー用付せんなどを手がける㈱PR39（福岡市博多区竹下、☎092・409・6039）は、展示ブースの壁一面に約500枚の付せんで構成したアートを披露。担当者は「今回の付せんアートや独自に定めた『売れるふせんづくりの5箇条』など見せ方を工夫し、ノベルティー品に特化している点をPRしている」と話す。

㈱アスカネット（広島市安佐南区祇園、☎082・850・1200）は、シールと写真を組み合わせたフォトブック「シールスタンド」を紹介した。同商品は、専用ウェブサイトを通じて利用者が好きな画像を元に作成できるアルバム。選んだ画像がシールとなっており、剥がすと下から同じ写真が現れる仕組みだ。主な用途は、結婚式や子どもの成長記録などを想定している。

意匠性の高いデザインを訴求したイーデーエム（上）やロール状付せんを展開するやまと印刷などが出展



粘着紙を活用した「シールスタンド」　約500枚の付せんを使ったアートも

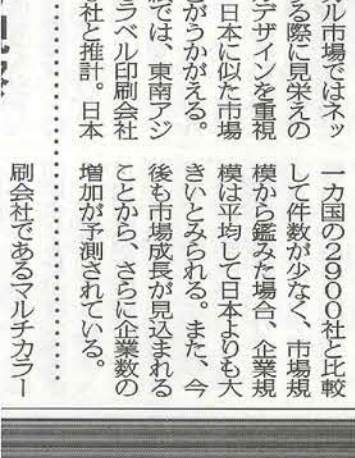
化粧品開発展
Web販促EXPO

アイキャッチ性高める提案
粘着紙活用の幅広げる製品

アジアのラベル市場〈東南アジア〉

東南アジア経済は近年、急速な成長を遂げている。東南アジアのGDPは2兆5390億㌦（2015年）筆頭に6億人を超え、世界人口の8%を占めるまでに至った。労働人口の増加と各国のインフラ整備向上が今後、さらなる伸長が見込まれる。

東南アジアのラベル市場動向



が「ラベルエキスポ東南アジア視察ツベルコンバーターの生産現場を体感

して重視する。それに付随して、日本をはじめとする世界各地域からラベル関連企業の進出が著しく、東南アジア地域のラベル市場は今後、さらなる伸長が見込まれる。

域く商フ代にの品品購買層として注目されるのが、80年～2000年代に誕生した〝ミレニアル世代〟。同世代は、スマートフォンを活用し、ネットで商品を購入する傾向が強く、SNSの利用率が他地域と比較して高い。そのため、ローカル市場ではネットで閲覧する際に見栄えのよいラベルデザインを重視するなど、日本に似た市場であることがうかがえる。

なお本紙では、東南アジア全体でのラベル印刷会社を3200社と推計。日本一カ国の2900社と比較して件数が少なく、市場規模から鑑みた場合、企業規模は平均して日本よりも大きいとみられる。また、今後も市場成長が見込まれることから、さらに企業数の増加が予測されている。

刷会社であるマルチカラー

ライン加工機